

阪神・淡路大震災20年 住まいの共済発売記念 防災・減災 標語コンテスト

つたえよう、ぼくらの言葉 とどけよう、次世代へ

平成27年4月3日(金)最終審査会が実施され、
全応募1051作品の中から、入賞作品が決定しました。

最終審査会
審査員

- 兵庫県副防災監兼企画課民部防災企画局長 大久保 博章
- 神戸新聞社執行役員 論説委員長 桜間 裕章
- 神戸市危機管理室室長 長岡 賢二
- 全労済兵庫県本部本部長 酒井 行雄
- 人と防災未来センターセンター長 河田 恵昭
- 全労済兵庫県本部専務執行役員 菊池 則雄
- 兵庫県立松陽高等学校教諭 諏訪 清二

(敬称略)



受賞者の皆さん



表彰の様子



挨拶をする酒井本部長



講評を行う菊池専務執行役員

最優秀賞

各部門1作品

小学生以下部門

ふだんから、家々で話そう「もしも」のこと

芦屋市 岡本 優明

中・高校生部門

備えよう 未来の家族と自分のために

神戸市 中山 らら

大学生・一般部門

この街でもらった教訓 受け継ぐ使命

神戸市 平野 浩子

(敬称略)

優秀賞

各部門5作品

小学生以下部門

おおつなみ たかにのぼって おおあんしん

浜守 潤

今決めよう 家族と会う場所 逃げる場所

高見 菜月

すぐにげよう かならずあとで あえるから

安井 理央

そなえよう つぎくる災害 明日かも

飛谷 悠仁

あわてずに いのちをまもる ヘルメット

菜田 智也

中・高校生部門

防災は 人と自然の 知恵 比べ

千田 優美

何事も 備えあっての 明日がある

岡田 希美

震災は ホンマにおきてん! 伝えなアカン

田野 ほのか

大地震 いつもの訓練 生きてくる

金 直人

語り継ぐ 多くを学んだ あの日から

千田 優美

大学生・一般部門

語り続けていこう 次の世代の人たちへ

中田 智恵

減災は 一人ひとりの 備えから

石田 昭次

怠らない 備えと訓練 危機管理

森垣 久美子

大震災 1人の気付きで 小震災

橋本 大徳

我が家でも 月に一度の 防災会議

大江 美典

(敬称略・順不同)

佳作 全部門から50作品

- あいさつは じしんのそなえの だいいっぱ
地震予知、できないからこそ防災を
つたえよう 地震の怖さ ぼくらから
怖がるいでちょうどいい「かもしれない」で行動しよう
忘れない。あの震災を教訓に。
ことでも ゆうきをだせば まられるのち
備えるだけで 未来が変わる
忘れずに そなえておこう 震災へ
さいがいは、なまがだいじたすけあう
家族もね 大切だけど さき自分
じゅんびしよう ひなんリュックは 近くにね
守りたい 子供の笑顔 僕の手で
生きるために ちいきのきずなを ふかめよう
自分の命は 自分で 守ろう
大地震 備える意識に 命あり
協力しみんなで行こう 避難場所
自分だけ 自分の命を 守るのは
大地震 常に備える 非常食
経験のパンを次の走者へつなげて行こう安心を
防災グッズ そのうちではなく 今すぐに
地震にも 負けない絆は 近所の輪
忘れずに 風化させずに 震災を
備えよう 使わなければ それでいい
伝えよう 守れる命 防災で
大地震 忘れず つなご 未来へと
人とのつながり 何より強い 命綱
伝えよう 涙と希望を 「これから」に
知っているだけでは防げない 実践、実行してなえよう
今日の減災、明日の安心
子供もおとなも皆同じ常に声かけ 笑顔で気遣い
備えよう 地震の教訓 心がけ
食料、飲料、衣料品 備えて安心7日分
ごろから 大丈夫かと 自問自答
「想定外」備えた事は「想定内」
災害を減らす備品と 冷静さ
集まろう 未来を守る 防災訓練
再確認 防災グッズと避難場所
忘れない。あの時の怖さと、人のやしさを。
災害が来る来ないより まず備え
ふだんからあの日の教訓子や孫に
乗りこえた 神戸の町が 希望の灯
忘れるな あの日の記憶 いつまでも
あの日の 少しの注意で 私は生きて
明日へ備え 心を束ね 安心をつなぐ。
防災と減災は自然と仲良く暮らす知恵
避難経路 日ごろの確認 忘れずに
もうよそう! 自然の力 想定外
忘れない あの日見た街 あの想い
過去には「祈り」を、未来には「備え」を。
安全な 今こそ確認 ハザードマップ
足立 有希

(敬称略・順不同)